

福山大学 資格取得支援センター 令和元(2019)年度 自己点検・評価書

基準1. 理念・目的

領域: 使命・目的、教育目的

2019年度

資格取得支援センター

中長期計画	資格取得支援センターの目的に則り、学内の各部署で実施している資格取得に関する支援を統括し、効率的かつ実効のある支援が行えるようサポートしていきたい。 中期計画: 資格取得支援センター自己点検評価委員会においておおそ5年に一度をめぐり本センターの使命・目的を点検し、必要が認められれば見直しを行う。次回は、大学全体の外部評価を実施する際に点検を行う予定である。
-------	---

2019年度

資格取得支援センター

中点検項目	1-1. 大学、学部、学科、研究センター及び委員会等は、それぞれの使命・目的および教育目的を設定していますか。
点検項目	① その意味・内容は具体的かつ明確ですか。
現状説明	・本学の「学生支援ポリシー」の中で、「社会人力を高めるためのキャリア教育、インターンシップ、資格取得支援などを通じて、各学生が自分の希望や得意分野に応じて就職、大学院進学等の進路を的確に選択できるよう支援する。」と、資格取得支援の使命・目的を明確に示している。 ・本センターの目的は、資格取得支援センター規程の第1条に「福山大学に本学の学生が、有用な資格又は試験の取得を支援するためのセンターとして、福山大学資格取得支援センターを置く。」と具体的かつ明確に示されている。
年度目標	現状を維持
年度報告	・現状を維持した。
達成度	S
改善課題	特になし。
根拠資料	①学生便覧2019 P.212 ②資格取得支援センター規定
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 個性・特色を明示していますか。
現状説明	・本センターの目的は、福山大学の建学理念にある「学問にのみ偏重するのではなく、真理を愛し、道理を实践する知行合一の教育によって、人間性を尊重した調和的な全人格陶冶」という本学の教育の特色に沿っており、個性・特色の明示については問題ないと判断している。
年度目標	現状を維持
年度報告	・現状を維持した。
達成度	S
改善課題	特になし。
根拠資料	①学生便覧2019 P.2
次年度の課題と改善の方策	

点検項目	③ 社会の要請や背景の変化について検討していますか。
現状説明	・社会の要請や背景の変化に対応して、各学部・学科及び大学教育センターが有用な資格や試験を検討しており、それに基づいて本センター運営委員会において取得支援を行う資格や試験を選定していることから、社会の要請や背景の変化への対応については問題ないと判断している。
年度目標	現状を維持
年度報告	・現状説明に記載した方針を維持した。
達成度	S
改善課題	特になし。
根拠資料	①令和元年度第1回～第3回資格取得支援センター運営委員会議事録
次年度の課題と改善の方策	

2019年度

資格取得支援センター

中点検項目	1-2. 使命・目的および教育目的の反映
点検項目	① 使命・目的および教育目的に対し、教職員の理解と支持は得られていますか。
現状説明	・本センター運営委員会には、各学部から少なくとも1名の教員が委員として、また1名の事務職員が幹事として参加しており、それらの委員が本センターの使命・目的を十分に理解した上で各学部学科において資格取得支援の方針をとりまとめ、それらを本センター運営委員会において集約して本学の資格取得支援の方針を決定している。従って、本センターの使命・目的に対する教職員の理解と支持については問題ないと判断している。
年度目標	現状を維持
年度報告	・現状を維持した。
達成度	S
改善課題	特になし。
根拠資料	①令和元年度福山大学諸委員会構成員名簿 ②令和元年度第1回および第2回資格取得支援センター運営委員会議事録
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 学内外へ公表し、周知していますか。
現状説明	・資格取得支援の使命・目的の内容を含む福山大学の「学生支援ポリシー」を本学HPと学生便覧上に掲載しているが、大学ポートレート(私学版)上では公表していない。
年度目標	・本学の「学生支援ポリシー」の本学HPと学生便覧への掲載については現状を維持 ・大学ポートレート(私学版)については、2019年度版において適切な項目が用意されていた場合には、そこに本学の「学生支援ポリシー」を記載するよう担当者に働きかける。
年度報告	・引き続き、本学の「学生支援ポリシー」を本学HPと学生便覧上に掲載し、周知した。 ・大学ポートレート(私学版)については、現状では「学生生活の支援」のタブに学生支援ポリシーを記載するのに適切な項目が存在していなかった。
達成度	A
改善課題	特になし。
根拠資料	①福山大学HP (https://www.fukuyama-u.com/student-affairs/) ②学生便覧2019 P.212

次年度の課題と改善の方策	・大学ポートレート(私学版)については、今後のページ構成の変化を見守り、環境が整えば学生支援ポリシーを記載するよう担当者に働きかけることとする。
点検項目	③ 中長期的計画に反映していますか。
現状説明	・本センターでは、本センターの使命・目的に沿って実施した前年度の資格取得支援の自己点検評価報告に基づいて毎年中长期計画を見直し、本センターの自己点検評価委員会の承認を得た上で提出していることから、使命・目的の中长期計画への反映について問題はない。
年度目標	現状を維持
年度報告	・今年度も現状説明に記載した手続きを経て、本センターの中长期計画を含む平成31(令和元)年度自己点検評価計画を提出した。
達成度	S
改善課題	特になし。
根拠資料	①資格取得支援センター平成31年度自己点検評価計画 ②令和元年度第1回資格取得支援センター運営委員会議事録
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	④ 三つのポリシーに反映していますか。
現状説明	・本センターでは、本学で行う資格取得支援を「教育」「指標」「基礎」「就職」の4つに分類している。そのうち「指標」とは各学部学科の専門科目の教育内容と深い関連をもち、かつ学部学科の教育成果の使用として利用できる資格を指す。この「指標」に位置づけている資格の取得支援は、各学部学科のディプロマ・ポリシーに反映され、カリキュラム・ポリシーに盛り込まれている。
年度目標	・2018年度に資格取得支援センター運営委員会において承認された「『指標』に分類する資格や検定試験に関する申し合わせ事項」に基づいて、各学部学科において「指標」に位置づけている資格のカリキュラム・ポリシー上での位置づけをより明確にするため、それらの資格・検定試験の取得を当該学部学科のカリキュラムマップ上に受験年次の到達目標(中目標)などとして明記する作業を行うよう支援していく。
年度報告	・本センター運営委員会からの依頼に応じて、該当する学部学科において資格・検定試験の取得をカリキュラムマップ上に受験年次の到達目標(中目標)などとして明記する作業が行われた。
達成度	S
改善課題	特になし。
根拠資料	①心理学科カリキュラムマップ(2020年度改訂版) ②生物工学科カリキュラムマップ(2020年度改訂版)
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑤ 教育研究組織の構成との整合性は取れていますか。
現状説明	・本センター運営委員会には、各学部から学部長補佐が委員として、また1名の事務職員が幹事として参加しているほか、大学教育センター長、教務委員長、就職委員長、学務部長、学務課長、教務課長、及び就職課長が委員として参加しており、本学の教育研究組織の構成との整合性に問題はない。
年度目標	現状を維持
年度報告	・現状を維持した。
達成度	S

改善課題	特になし。
根拠資料	①令和元年度福山大学諸委員会構成員名簿
次年度の課題と改善の方策	

2019年度

資格取得支援センター

基準2. 学生

領域： 学生の受入れ、学生の支援、学修環境、学生の意見等への対応

2019年度

資格取得支援センター

中長期計画	資格取得支援センターの目的に則って、本学並びに各学部・学科の教育理念・目的やポリシーに沿った資格又は検定の取得支援を継続的に支援していく。 中期計画： ・学内各部局で実施している資格取得支援を統括し、本学のポリシーに沿った支援の充実を図る。 ・就職委員会と連携して、学生の公務員試験受験に関する支援対策の充実を図る。
-------	---

2019年度

資格取得支援センター

中点検項目	2-1. 学生の受入れ
点検項目	① 教育目的を踏まえたアドミッション・ポリシーの策定と学内外への周知を行っていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② アドミッション・ポリシーに沿った学生を受け入れていることを検証し、学生受入れの改善に生かしていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 入学生受入れ状況を昨年度及び今年度について検証し、その増減の原因を分析していますか。
現状説明	

年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	㊦ 入学定員に沿った適切な学生受入数を維持できていますか。出来ていない場合、どのような対策を実施していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

2019年度

資格取得支援センター

中点検項目	2-2. 学修支援
点検項目	① 学修体制の整備のため、どのような教員と職員等の間でどのような協働をしていますか。また、それを学内外に公表し周知していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 学修支援の充実のために、TA(Teaching Assistant)等を有効に活用していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	

次年度の課題と改善の方策	
2019年度	資格取得支援センター
中点検項目	2-3. キャリア支援
点検項目	① 教育課程内外を通じて社会的・職業的自立に関するキャリア形成支援体制を整備していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 卒業生の進路に関する過去3年間にわたる資料を収集し、検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 資格取得やインターンシップを支援する体制を整備していますか。
現状説明	・本センターの運営委員会の委員は各学部長補佐、大学教育センター長、教務委員長、就職委員長、学務部長、学務課長、教務課長、及び就職課長で構成されており、また、学務課長、教務課長、就職課長、経済学部・人間文化学部事務長、工学部・生命工学部事務部長、及び薬学部事務部長が幹事として運営委員会に参加している。これにより、各学部学科・大学教育センターの意見等の資格取得支援の活動計画への反映を図っている。 ・本学の資格取得支援に関わる活動計画は、本学の「学生支援ポリシー」、及び2014(平成26)年度に示された「資格取得支援についての学長室見解」に基づいて、毎年度初めに本センター運営委員会で議論して決定している。
年度目標	・各学部学科及び大学教育センターに対して、支援を実施している各種資格・検定試験、特に教育成果の客観的な「指標」として利用することを意図している資格・検定試験の受験率・合格率の向上に向けて、学生への周知方法、指導方法、支援内容などのいっそうの充実を求める。
年度報告	・今年度第1回資格取得支援センター運営委員会において、年度目標に記載した事項を含む活動方針を決定し、各学部学科に実行を求めた。
達成度	A
改善課題	・特に「指標」と位置づけている資格・検定試験について、一部の学部学科では受験率と合格率を高めるためのさらなる努力が必要である。

根拠資料	①令和元年度第1回および第3回資格取得支援センター運営委員会議事録
次年度の課題と改善の方策	・過去5年間の資格取得支援実績に基づいて、各学部学科における支援体制を見直し、「指標」と位置づけている資格・検定試験の受験率と合格率のいっそうの上昇を目指す。
点検項目	④ 就職指導を適切に行い、就職の質及び内定率の向上に取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

2019年度

資格取得支援センター

中点検項目	2-4. 学生サービス
点検項目	① 学生生活の継続のための経済的支援は実施されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 種々のハラスメントの発生防止に取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 課外活動(サークル活動、留学等の国際交流、社会貢献活動を含む)の活性化のために、どのような取り組みを行っていますか。
現状説明	

年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

2019年度

資格取得支援センター

中点検項目	2-5. 学修環境の整備
点検項目	① 校地、校舎等の学修環境の整備と適切な運営・管理をどのように実施していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② ICT教室、実習・実験施設、図書館等を活用していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 施設・整備のバリアフリー化やアメニティスペースの確保など、学生の利便性を高めるために、どのように取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	

次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	④ 授業を行う学生数等を考慮した適切な施設・設備上の管理をしていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	⑤ 施設・設備の管理において、防災・防火の観点から整備点検を行っていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	⑥ 施設内に保管している劇物・危険物の管理において、安全管理の観点から管理システムを整備していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	⑦ 学生及び教職員の安全確保のために、各部署に適切な安全管理教育の実施、災害時避難マニュアルの作成及び防災訓練等を実施していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	

改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

2019年度

資格取得支援センター

中点検項目	2-6. 学生の意見・要望への対応
点検項目	① 学修支援に関する学生の意見・要望を把握する体制やその分析と検討結果を活用する体制を整備していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 心身に関する健康相談、経済的支援をはじめとする学生生活に関する学生の意見・要望を把握する体制やその分析と検討結果を活用する体制を整備していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 学修環境に関する学生の意見・要望を把握する体制やその分析と検討結果を活用する体制が整備されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

基準3. 教育課程**領域： 卒業認定、教育課程、学修成果****中長期計画**

中点検項目	3-1. 単位認定、卒業認定、修了認定
点検項目	① 教育目的を踏まえたディプロマ・ポリシーは、学内外に周知されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② ディプロマ・ポリシーを踏まえた単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準(ルーブリック等の評価指標を含む)等の策定はどのように行われ、学内外に周知していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 単位認定基準、進級基準、卒業認定基準、修了認定基準等を公表し、厳正に適用されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	

次年度の課題 と改善の方策	
2019年度	資格取得支援センター
中点検項目	3-2. 教育課程及び教授方法
点検項目	① カリキュラム・ポリシーを策定し、学内外に周知していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	② カリキュラム・ポリシーとディプロマ・ポリシーとの間に一貫性がありますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	③ カリキュラム・ポリシーに沿った教育課程を体系的に編成していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題 と改善の方策	
点検項目	④ 教養教育は専門教育とともに十分に実施されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	

達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑤ 教授方法を工夫・開発(ICTの活用を含む)し、効果的に実施していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑥ ディプロマ・ポリシーと卒業判定の整合性を考えていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

2019年度

資格取得支援センター

中点検項目	3-3. 学修成果の点検・評価
点検項目	① 全学及び各学科等のアセスメント・ポリシーの活用も含め、三つのポリシーを踏まえた学修成果の点検・評価方法の確立とその運用をどのように検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

点検項目	② 教育内容・方法及び学修指導等の改善へ向けての学修成果の点検・評価結果のフィードバックはどのように実施されていますか。学修成果の点検・評価結果を教育内容・方法及び学修指導等の改善につなげていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

2019年度

資格取得支援センター

基準4. 教員・職員

領域： 教学マネジメント、教員・職員配置、研修、研究支援

2019年度

資格取得支援センター

中長期計画	大学教育センターの資格教育部門長を兼ねる資格取得支援センター長(兼 資格取得支援センター運営委員長)が、大学教育センター部門長等連絡会議で学長室会議のメンバーである教育担当副学長(兼 大学教育センター長)から示される本学の方針に基づき、本センターの運営委員会において適切にリーダーシップを発揮し、本学の資格取得支援を充実させ、支援の成果を上げる。 中期計画： ・適切なマネジメントにより本学の各学部学科並びに大学教育センターにおける資格取得支援活動を活発化させる。
-------	--

2019年度

資格取得支援センター

中点検項目	4-1. 教学マネジメントの機能性
点検項目	① 大学の意思決定と教学マネジメントにおける学長の適切なリーダーシップが確立され、それが発揮されていますか。当該部署の長は当該部署の教学マネジメントにおいて適切にリーダーシップを発揮していますか。
現状説明	・資格取得支援センター長(兼 資格取得支援センター運営委員長)が、大学教育センターの資格教育部門長を兼ねており、学長室会議のメンバーである大学教育センター長を長とする大学教育センター部門長等連絡会議に参加している。この大学教育センター部門長等連絡会議において学長のリーダーシップを反映して決定された方針に基づいて、資格取得支援センター長が同センター運営委員会において同センターの活動方針等の取りまとめを行っている。
年度目標	現状を維持
年度報告	・今年度も、現状説明に記載した手続きに則って資格取得支援センターの活動方針を決定した。
達成度	S
改善課題	特になし。
根拠資料	①平成31(令和元)年度第1回大学教育センター部門長等連絡会議事録 ②令和元年度第1回資格取得支援センター運営委員会議事録
次年度の課題と改善の方策	

点検項目	② 当該部署では、教職員間で権限・役割を適切に分散し、かつそれぞれの責任を明確化した教学マネジメントを実施していますか。
現状説明	・毎年度の第1回資格取得支援センター運営委員会においてその年度の活動方針を決定し、その内容によってそれぞれ委員の中から担当者を決めて対応を行っている。
年度目標	現状を維持
年度報告	・今年度も、現状説明に記載した手続きに則って資格取得支援センターの活動方針を決定し、分担を決めて活動を実施した。
達成度	S
改善課題	特になし。
根拠資料	①令和元年度第1回～第3回資格取得支援センター運営委員会議事録
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 職員の配置と役割の明確化などにより、教学マネージメントの機能性を高めていますか。
現状説明	・本センターには専任の教職員は置かれていない。 ・本センター運営委員会には学務部長、学務課長、教務課長、及び就職課長が委員として、また学務課長、教務課長、就職課長、経済学部・人間文化学部事務長、工学部・生命工学部事務部長、及び薬学部事務部長が幹事として、それぞれ参加している。このような配置により、同センター運営委員会で決定した活動方針を各部局の職員が十分に理解し、それぞれの部局における資格取得支援活動をスムーズに行うことができるように配慮されている。
年度目標	現状を維持
年度報告	・現状を維持した。
達成度	S
改善課題	特になし。
根拠資料	①令和元年度福山大学諸委員会構成員名簿 ②令和元年度第1回～第3回資格取得支援センター運営委員会議事録
次年度の課題と改善の方策	

2019年度

資格取得支援センター

中点検項目	4-2. 教員の配置・職能開発等
点検項目	① 当該部署の教育目的及び教育課程に即した資質を有する教員を配置していますか。また、当該部署の適切な運営及び継続性を担保する構成(性別、年齢、職階等)となっていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

点検項目	② 大学設置基準、教職課程等の資格養成機関に求められる教員数を確保していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ FD(Faculty Development; 教育内容・方法等の改善)をはじめとする教員の資質向上に向けた取り組みを行っていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

2019年度

資格取得支援センター

中点検項目	4-3. 職員の研修
点検項目	① SD(Staff Development; 教職員の個々の職能開発)をはじめとする大学運営に関わる教職員の資質・能力向上と教職協働への取り組みを実施していますか。
現状説明	・「大学におけるキャリア教育・支援のこれまでとこれから ― 点検から改善へ ―」をテーマとするFD/SD研修が2017(平成29)年度に実施された。
年度目標	・今年度は特に資格取得支援に関わるSDを計画していないが、本センター運営委員会の構成メンバーである教職員が、それぞれ本学が実施する各種のFD/SDに積極的に参加する。
年度報告	・今年度は特に資格取得支援に関わるSDを実施しなかったが、教員職員はそれぞれ本学が実施した各種のFD/SDに積極的に参加した。
達成度	A
改善課題	特になし。
根拠資料	①令和元(平成31)年度第1回～第11回大学教育センター運営委員会議事録
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 大学運営の効率改善のために ICTの活用を推進していますか。
現状説明	・本センターで行っている活動に、現時点では特にICTの活用は関係しない。
年度目標	現状を維持
年度報告	・現状を維持した。

達成度	S
改善課題	特になし。
根拠資料	特になし。
次年度の課題と改善の方策	

2019年度

資格取得支援センター

中点検項目	4-4. 研究支援
点検項目	① 研究に専念する時間の確保、研究室の施設設備の整備等の研究環境を適切に管理していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 研究倫理の確立(規則の整備や検査等)と厳正な運用が行われていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 研究活動への資源の配分や運用は適正に行われていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

点検項目	㊦ 公的研究費の運営・管理(ガイドライン等)が整備され、周知されていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

2019年度

資格取得支援センター

基準6. 内部質保証

領域: 組織体制、自己点検・評価、PDCAサイクル

2019年度

資格取得支援センター

中長期計画	PDCAサイクルを適切に機能させ、本センターの資格取得支援活動の質を向上を目指す。本センターの自己点検評価については毎年実施し、本センターを含む大学全体の外部評価をおおよそ5年ごとに実施する。 中期計画: ・本センターの運営委員会と自己点検評価委員会が中心となって、PDCAサイクルを毎年確実に稼働させ、各学部学科及び大学教育センターにおける資格取得支援活動の活性化を図る。
-------	---

2019年度

資格取得支援センター

中点検項目	6-1. 内部質保証の組織体制
点検項目	㊦ 内部質保証のための組織を整備し、責任体制を確立していますか。
現状説明	・本センターに自己点検評価委員会を置き、本センターの活動の中長期計画、年度目標及びその達成度の点検評価を行っている。 ・本センター自己点検評価委員会の委員は、本センター長、本センター副センター長、その他本センター長が必要と認める者、で組織している。同評価委員会の委員長は本センター長が務めることとしている。
年度目標	現状を維持
年度報告	・現状を維持した。
達成度	S
改善課題	特になし。
根拠資料	①令和元年度第3回資格取得支援センター運営委員会議事録 ②福山大学資格取得支援センター自己点検評価委員会細則
次年度の課題と改善の方策	

中点検項目	6-2. 内部質保証のための自己点検・評価
点検項目	① 内部質保証のための自主的・自律的な自己点検・評価が実施され、その結果を当該部署の教職員が共有していますか。
現状説明	・毎年度に本センターの自己点検評価委員会において、本センターの当該年度の年度計画と中長期計画を自己点検評価計画に基づいて、また達成度を当該年度の自己点検評価報告書に基づいてそれぞれ点検評価し、同評価委員会の承認を得た上で大学に提出している。 ・自己点検評価計画と自己点検評価報告書の点検評価結果を本センター運営委員会において報告するとともに、それらを資料として配布し、その内容の理解の共有を図っている。
年度目標	現状を維持
年度報告	・今年度も、現状説明に記載した手順に沿って本センターの自己点検評価計画ならびに自己点検評価結果を本センター運営委員会の委員・幹事間で共有した。
達成度	S
改善課題	特になし。
根拠資料	①令和元年度第1回および第3回資格取得支援センター運営委員会議事録 ②令和元年度第1回資格取得支援センター自己点検評価委員会議事録
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② IR(Institutional Research)等を活用した十分な調査・データの収集と分析を行っていますか。また、その結果を改善に活かしていますか。
現状説明	・毎年度に各学部・学科及び大学教育センターにおける資格取得支援の活動実績を本センター運営委員会でとりまとめ、それらのデータを蓄積したファイルをOffice365上の本センター運営委員会グループのドキュメント、ならびにKarin上の本センター運営委員会フォルダー内で共有している。 ・毎年度の活動実績について本センター運営委員会において分析し、問題点を抽出して、それらの解決策を次年度の活動計画に盛り込むようにしている。
年度目標	・2018(平成30)年度の活動実績の点検結果に基づいて、各学部学科及び大学教育センターに対して教育成果の客観的「指標」と位置づけている資格・検定試験の受験率と合格率の改善を図るべく、学生への周知方法、指導方法、支援内容などのいっそうの改善を求める。 ・2018(平成30)年度に資格取得支援センター運営委員会において承認された「『指標』に分類する資格や検定試験に関する申し合わせ事項」に基づいて、各学部学科において「指標」に位置づけている資格のカリキュラム・ポリシー上での位置づけをより明確にするため、それらの資格・検定試験の取得を当該学部学科のカリキュラムマップ上に受験年次の到達目標(中目標)などとして明記する作業を支援していく。
年度報告	・今年度の資格取得支援の活動実績を本センター運営委員会でとりまとめたとともに、各学部学科で取得支援を行っている資格・検定試験の平成27年度以降の経年実績を一つのファイルにまとめ、運営委員会メンバー間で共有し、資格取得支援に関わる問題点を抽出しやすくした。 ・本センター運営委員会からの依頼に応じて、該当する学部学科において資格・検定試験の取得をカリキュラムマップ上に受験年次の到達目標(中目標)などとして明記する作業が行われた。
達成度	A
改善課題	・一部の学部学科では「指標」と位置づけている資格検定の受験率と合格率をさらに高める努力が必要である。
根拠資料	①令和元年度第3回資格取得支援センター運営委員会議事録 ②心理学科カリキュラムマップ(2020年度版) ③生物工学科カリキュラムマップ(2020年度版)

次年度の課題と改善の方策	・過去5年間の資格取得支援実績に基づいて、各学部学科における支援体制を見直し、「指標」と位置づけている資格・検定試験の受験率と合格率のいっそうの上昇を目指す。
--------------	---

2019年度

資格取得支援センター

中点検項目	6-3. 内部質保証の機能性
点検項目	① 内部質保証のための学部、学科、研究科等と大学全体のPDCAサイクルの仕組み(システム)をどのように確立し、その機能性を検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 教職員のコンプライアンスを確立するための体制を整備していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

2019年度

資格取得支援センター

基準7. 福山大学ブランディング戦略

領域: 「福山大学ブランディング戦略」の点検・評価 (本学独自基準)

2019年度

資格取得支援センター

中長期計画	
-------	--

中点検項目	7-1. 福山大学ブランディング戦略の推進
点検項目	① 福山大学ブランディング戦略 (ver. 2018) の概略について当該部署の学生及び教職員への周知を進めていますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 福山大学はブランディングを「広告ではなく、社会に貢献する観点から他にはない固有の魅力を引き出して他との差別化を図り、社会から選ばれること」と捉えています。この観点からブランディングにどのように取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 福山大学ブランディング戦略では「備後地域の産学官民連携を推進し、地域の教育資源を最大限に活用して人間性を高め、地域を愛し、地域で活躍し、地域から国際社会につながる『未来創造人』を育成すること」を方針としています。当該部署は、この方針の実現にどのように取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

点検項目	④ 福山大学ブランディング戦略では、福山大学が備後地域の知の拠点として地域と共に育ち、地域創生に貢献することを目標としています。この目標の実現に向けて、どのような取組をし、その成果をどのように検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑤ 福山大学ブランディング戦略では、建学の理念に基づき、「地域の中核となる幅広い職業人」を、育成する人材像としています。そのために、どのような取組をし、その成果をどのように検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑥ 福山大学ブランディング戦略が掲げる「備後地域との密な連携のもとに進める教育研究」としてどのような取組をし、その成果をどのように検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	⑦ 福山大学ブランディング戦略が掲げる「学問にのみ偏重しない全人教育」としてどのような取組をし、その成果をどのように検証していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	

達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	

2019年度

資格取得支援センター

中点検項目	7-2. 福山大学ブランディング推進のための研究プロジェクト
点検項目	① 当該部署では全学的に展開しているプロジェクト研究の「瀬戸内の里山・里海学」にどのように取り組んでいますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	② 福山大学ブランディング研究に必要な内部資金及び外部資金をどのように獲得していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	
点検項目	③ 福山大学ブランディング研究の成果をどのように社会に発表していますか。
現状説明	
年度目標	
年度報告	
達成度	
改善課題	
根拠資料	
次年度の課題と改善の方策	